

ホルミシスの未来を切り開く画期的な発明、「ラドンミスト発生装置」

ホルミシスがいかに理にかなった健康法かわかりいただけましたでしょうか。

民間の病院やクリニックでもラジウム鉱石を床や壁に用いて、その部屋に充満するラドンを吸引する「ホルミシスルーム」を相次いで開設し、ホルミシスを医療に取り入れる動きは活発ですが、残念ながら身近で有効なホルミシス施設はまだわずかです。

そんなホルミシスへの期待の高まりを受けて開発されたのが、岡山のベンチャー企業、株式会社ラドン医療研究開発機構と岡山大学医学部放射線医療の権威、山岡聖典教授の共同研究による「ラドンミスト発生装置」です。

純粋なラドン(Rn222)だけを抽出し、ミスト状で効率吸引できる、ホルミシスの切り札とも言える画期的な発明です。

ラドン放出量は12,000Bq(ベクレル)/m³~20,000Bq/m³もの高濃度で、しかも自由に濃度の調節が可能なパワフルかつ安全な装置です。

まだ全国に数台しかないこの装置により、普段着のまま、短時間しかも低料金で、確かなホルミシス効果を体験いただける新しいかたち「ホルミシスサロン」が実現しました。

「ホルミシスサロン」の実力と可能性をぜひ一度で体験ください。

ラドン吸引は安全・安心

岡山大学病院三朝医療センター、ラドン高濃度熱気浴室の治療ではラドン濃度2,000Bq(ベクレル)/m³、1回40分、一日おき、3~4週間(9~12回)がラドン治療の標準的1期間とされており、上記期間中の放射線の影響値は50~67μSv(マイクロシーベルト)と算出されます。

当サロンに置き換えると、ラドン濃度15,000Bq/m³、1回20分、一日おき、3~4週間(9~12回)のラドン吸引で、期間中の放射線の影響値は190~250μSv、東京~ニューヨーク間を飛行機で往復した際に浴びる量とほぼ同じで健康被害の心配は全くありません。

*Bq(ベクレル)は放射線の量、Sv(シーベルト)は放射線の人体に与える影響の度合を表す数値です。1μSv=1/1000mSv(ミリシーベルト)

ホルミシスサロンは癒しの空間。
日頃のストレスから開放されて
ゆったりお過ごしください。

常時安定した高濃度のラドンをミスト状で直接吸引しますので、ホルミシスルームやホルミシス岩盤浴と比べて、効率的なラドン吸引が可能になり、より確実なホルミシス効果が期待できます。

当サロンの吸引ルームは1室、ラドン放出量は15,000Bq/m³に設定、標準的な1回20分吸引コースで、1日最大15人の受け入れが可能です。

事前に必ずご予約ください。

